

山本 祐ノ介（やまもと・ゆうのすけ 指揮者）



両親ともに作曲家の家庭に生まれ、早くからピアノ、作曲を学ぶ。また指揮を父山本直純、靄山和明、川本統脩の各氏に師事する一方、チェロを斎藤建寛、堀江泰の各氏に師事。東京藝術大学を経て同大学院を修了。ハレーストリングクアルテットのチェロ奏者、東京交響楽団首席チェロ奏者等を経て、現在ソロチェリスト及び、指揮者として活躍中。

指揮者としては、京都市響、東京ニューフィル、新日本フィル、日本フィル、東京シテイ・フィル、京都フィル室内合奏団等に度々招かれるほか、各地のジュニアオーケストラや市民オーケストラを指揮、特にファミリー向けのコンサートでは企画、編曲、指揮、司会をこなし好評を得ている。

2002年に行われた「日韓親善チェロコンサート」では、日韓300人のチェリストによる合奏を指揮、2011年より毎年開催されている「チェロ・コンGRESS・IN・JAPAN(サントリーホール)」においてチェロアンサンブルを指揮し絶賛を博している。2011年に東京ニューフィルハーモニック管弦楽団常任指揮者に就任。2013年、ミャンマー国立交響楽団を指揮し国立放送局制作の番組に出演、同時にミャンマー国内の盲学校やヤンゴンの日本人学校でのアウトリーチ活動を行う。2014年11月、同オーケストラの国立劇場での公演を指揮し大成功を収める。2015年ミャンマー国立交響楽団音楽監督兼首席指揮者に就任。

クラシックコンサートはもとより、アニメーションや戯曲等を含む広い分野で作、編曲、指揮、及びチェロ演奏を手がけているが、そのすべての活動において、人々の心に安らぎと勇気を与えるため、心あたたまる表情豊かな音楽を追究している。

幸田 浩子 (こうだ・ひろこ ソプラノ)



東京藝術大学を首席で卒業。同大学院, 及びオペラ研修所修了後, ボローニャ並びにウィーンに留学。

数々の国際コンクールで上位入賞後, 欧州の主要歌劇場へ次々とデビュー。カタール・ベッリーニ大劇場『清教徒』エルヴィーラ, ローマ歌劇場『ホフマン物語』オランピア, シュトゥットガルト州立劇場『皇帝テイトの慈悲』セルヴィーリア等大舞台で重要な役を演じ, オペラの母国で豊かな経験を積む。2000年には名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約し, 『魔笛』夜の女王, 『ファルスタッフ』ナンネッタ等に出演。

帰国後は, 『ばらの騎士』ゾフィー, 『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ, 『こうもり』アデーレ等で好評を博し, 近年では新国立劇場『ホフマン物語』オランピア, びわ湖ホール『リゴレット』ジルダ, 二期会『魔笛』パミーナで絶賛された。また, 幸田を“かぐや姫”役に想定して指揮者沼尻竜典氏が作曲したオペラ『竹取物語』は, 2014年の初演以降も, 2015年2月のハノイ公演, 8月びわ湖ホールでの舞台上演日本初演と, いずれも称賛されている。

その他NHK交響楽団をはじめ主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルなど多彩な活動を展開。

メディアへの登場も多くNHK-FM「気ままにクラシック」で笑福亭笑瓶氏とパーソナリティを務め人気を博し, 2012年からはBSフジにて音楽&トーク番組「レシピ・アン」にメインMCとして出演中。

2017年5月CDデビュー10周年を記念して『幸田浩子 マイ・ベスト・セレクション』(DENON)をリリース。

第14回五島記念文化賞オペラ新人賞, 第38回エクソンモバイル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。第3代クルーズアンバサダー(クルーズ振興大使)。二期会会員。

中村恩恵 (なかむら・めぐみ 振付家・舞踊家)



©大河内貞

1988年ローザンヌ国際バレエコンクール・プロフェッショナル賞受賞。フランス・ユースバレエ, アヴィニオンオペラ座, モンテカルロバレエ団を経て, 91~99年ネザーランドダンスシアターに所属。退団後はオランダを拠点に活動。

2000年自作自演ソロ『Dream Window』にて, オランダ Golden Theater Prize受賞。2001年彩の国さいたま芸術劇場にて, キリアン振付フルイブニングソロ『ブラックバード』上演, ニムラ舞踊賞受賞。

2007年日本に活動の拠点を移し, Dance Sanga設立。振付家/ダンサーとしての活動を両立し, これまでにNoism07『Waltz』(舞踊批評家協会新人賞受賞), NBAバレエ団『露とくとく』, ダンストリエナーレ TOKYO2009にて『ROSE WINDOW』を上演する。『The Well-Tempered』『時の庭』等の新作はマルセイユ・ダンス・フェスティバルやYCAMへ招へいされ国内外で高い評価を得る。

自身の舞踊活動に加え, キリアン作品のコーチとしてパリオペラ座をはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。2006・2007年度ローザンヌ国際コンクールにコンテンポラリーレパトリーのコーチとして参加。2011年芸術選奨文部科学大臣賞, 2013年横浜文化賞, 2015年服部智恵子賞を受賞。